

出力プリンタ等仕様書

1. 出力プリンタについて			
使用機器	1		※各プリンタの詳細の仕様は別添資料をご確認ください。
1 ページプリンタ（委託先設置） 機種名：RICOH Pro F2120Y			
2 モノクロプロダクションプリンタ（市庁舎設置） 機種名：RICOH Pro6100			
3 モノクロレーザービームプリンタ（市庁舎各課設置） 機種名：Canon LBP442			
4 カラーレーザービームプリンタ（委託先設置） 機種名：FUJI XEROX DocuColor7171P			
2. 事後処理機について			
使用機器	C		※仕様については別添一覧をご確認ください。
A ディタッチャー（市庁舎設置） A-1 機種名：トッパ ソフォーム Potencia125 （市庁舎設置） A-2 機種名：トッパ ソフォーム Corazon160 （委託先設置）			
B ドライシーラ B-1 機種名：トッパ ソフォーム PRESSLE SOLID 6844ST （市庁舎設置） B-2 機種名：トッパ ソフォーム PRESSLE DUO II 6855ST （委託先設置）			
C ブックレットマシン＋封入封緘機（委託先設置） ブックレットマシン機種名： トッパ ソフォーム Confia 7613ST 封入封緘機機種名： イセルロ イセルロインター 11006			
D OCR装置（市庁舎設置） 機種名：東芝 S3500EH ※帳票のプレ印刷のインクはドロップアウトカラーを使用してください。			
E 紙折機（委託先設置） 機種名：UCHIDA EZF-600			

RICOH Pro F2120Y 仕様書

はじめに

本仕様書は、RICOH Pro F2120Y製品カタログ及びユーザーズガイドを参考に作成しています。本仕様書に記載のない事項については、各自製品カタログやユーザーズガイドを入手してご確認ください。

1. 機器仕様

印刷方式：2ビームレーザー＋電子写真方式

定着方式：ヒートロール定着方式

2. 用紙仕様

【用紙の紙質】（ユーザーズガイド P230～）

本仕様書は両側に送り穴と横ミシン目及び縦ミシン目（ない場合もある）を有し、縦方向に連続して1枚の用紙を1本又は数本の横ミシン目毎に折りたたんだ連続伝票用紙に関するものです。

原紙は上質紙とし、組織が均一かつ不透明で特に伸縮が少なく印刷に適するものを使用してください。また、以下に該当する用紙は使用しないでください。

- ・ グリースや熱可塑性樹脂が含浸、付着しているもの
- ・ 極端に厚いまたは薄い用紙
- ・ 電子写真方式のプリンタまたは複写機で印刷した用紙（プレプリント紙は除く）
- ・ しわのある用紙、やぶれのある用紙、曲がっている用紙
- ・ 濡れたり、湿ったりしている用紙
- ・ 丸まった用紙
- ・ 静電気を帯びた用紙
- ・ のりの付いている用紙
- ・ 特殊な塗装（コーティング）のした用紙
- ・ 表面処理のなされている用紙
- ・ 200℃の温度または約300kPaの圧力に耐えられない用紙
- ・ 感熱紙
- ・ カーボン入用紙や感圧紙（ノーカーボン用紙等）等の複写紙
- ・ ペーパーファスナー、ひも、帯等の付いている用紙
- ・ 厚い生地用の用紙
- ・ ラベルをはがして裏の紙が出ているラベル用紙

【用紙重量】※1平方メートル当たり（788×1091mm（四六判）1,000枚の重量）
64～157g/m²（55kg～135kg）

【用紙幅】

用紙幅：165.1～457.2mm（6.5インチ～18インチ）

【用紙長】

用紙長（折りたたみ長さ）：152.4～355.6mm（6～14インチ）

※但し、12.7mm（0.5インチ）、8.5mm（1/3インチ）の整数倍で公差は±1mmとします。

【ミシン目の寸法規格】（ユーザーズガイド P234）

- ・ミシンのカット部寸法は、3mm以下
- ・ミシンのタイ部の寸法は、0.8mm以上
- ・ミシンのカット部とタイ部の比は、1以上かつ3以下

3. プレプリント用紙（事前印刷用紙）（ユーザーズガイド P241～242）

- ・OCR装置を使用する帳票は、ドロップアウトカラーを使用してください。
- ・特殊なインクを使用する際、通紙確認を希望する場合は事前にご連絡ください。
- ・インクについてのお問い合わせは直接メーカーにお問い合わせください。

4. 特 殊 紙（ユーザーズガイド P229～）

- ・ユーザーズガイドを参照ください。
- ・通紙確認を希望する場合は事前にご連絡ください。

付録 B 用紙の仕様

B.1 用紙について

本プリンタを円滑に運用いただくために、この付録Bでは、印刷用紙を購入する際の用紙の条件を紹介します。印刷用紙の製造業者との事前打ち合わせに御活用ください。なお、詳しく御知りになりたい場合にはお買い上げの販売店までお問い合わせください。

B.1.1 用紙についての一般的な推奨条件

印刷には、高品質の上質紙の原紙をご使用ください。原紙は組織は均一かつ不透明で、特に伸縮が少なく印刷に適するものであること。グリースや熱可塑性樹脂を含浸していたり付着しているものは印刷に不適格です。やれ(切り残し、やぶれ等)、よごれ、紙片の付着、ほこり、しわ、穴開き、丸まり、角の折れ等のない上質紙をご使用ください。

0G	A	00	
----	---	----	--

B.1.2 用紙の仕様

本仕様は両側に送り穴と横ミシン目及び縦ミシン目(ない場合もある)を有し、縦方向に連続して1枚の用紙を1本又は数本の横ミシン目毎に折りたたんだ連続伝票用紙に関するものです。書式フォーマットがあらかじめ事前印刷されている連続伝票にも適用されます。

(1) 紙質

原紙は上質紙とする。原紙の組織は均一かつ不透明で、特に伸縮が少なく印刷に適するものであること。グリースや熱可塑性樹脂を含浸していたり付着しているものは印刷に不適格です。

(2) 部数

一部紙

以下の用紙は、用紙ジャムや印刷品質に関する問題を起こしますので、使用しないでください。

- 極端に厚いまたは薄い用紙
- 電子写真方式のプリンタまたは複写機で印刷した用紙(プレプリント紙は除く)
- しわのある用紙、やぶれのある用紙、曲っている用紙
- 濡れたり、湿ったりしている用紙
- 丸まった用紙
- 静電気を帯びた用紙
- のりの付いている用紙
- 特殊な塗装(コーティング)のしてある用紙
- 表面処理のなされている色紙
- 200℃の温度または約300 kPaの圧力に耐えられない用紙
- 感熱紙
- カーボン入用紙や感圧紙(ノーカーボン用紙等)等の複写紙
- ペーパー・ファスナー、ひも、帯等の付いている用紙
- 厚い生地用の用紙
- ラベルをはがして裏の紙が出ているラベル用紙

なお、B.1.16にも用紙に関する留意事項を記載していますので御確認ください。

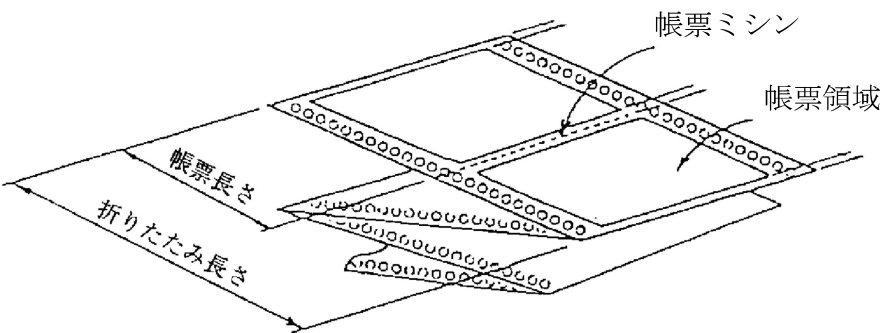
OG	A	01	
----	---	----	--

B.1.3 用紙の重量

1 平方メートル当りの重量で示す
(788×1091mm(四六判)1,000 枚の重量で示す。)
64～157 g /m² (55～135Kg)

B.1.4 用紙のサイズ

- 用紙幅：
165.1～457.2 mm (6.5～18 インチ)
 - 用紙長(折りたたみ長さ)： 152.4～355.6 mm (6～14 インチ)
但し、12.7mm(0.5 インチ)、8.5mm(1/3 インチ)の整数倍で公差は±1mm とします。
- 用紙長(折りたたみ長さ)および帳票長さは図B-1 の如く定義し、寸法は表B-1 による。



○：使用できる寸法
×：使用できない寸法

図 B-1 長さの定義

0G	A	01	
----	---	----	--

表 B-1 用紙の長さ

寸法	mm (インチ)	76.2 (3)	88.9 (3.5)	101.6 (4)	114.3 (4.5)	127 (5)	139.7 (5.5)	152.4 (6)	165.1 (6.5)	177.8 (7)
折りたたみ長さ		×	×	×	×	×	×	○	○	○
帳票長さ		○	○	○	○	○	○	○	○	○

寸法	mm (インチ)	190.5 (7.5)	203.2 (8)	215.9 (8.5)	228.6 (9)	241.3 (9.5)	254 (10)	266.7 (10.5)	279.4 (11)	292.1 (11.5)
折りたたみ長さ		○	○	○	○	○	○	○	○	○
帳票長さ		○	○	○	○	○	○	○	○	○

寸法	mm (インチ)	304.8 (12)	317.5 (12.5)	330.2 (13)	342.9 (13.5)	355.6 (14)
折りたたみ長さ		○	○	○	○	○
帳票長さ		○	○	○	○	○

用紙長 152.4mm(6 インチ)から 355.6mm(14 インチ)においては、表 B-1 に示すほかに、
8.5mm(1/3 インチ)単位の使用紙も使用できます。

例えば、152.4mm ， 160.9mm ， 165.1mm ， 169.3mm ， 177.8mm ， ……。

[6 ， 6¹/₃ ， 6¹/₂ ， 6²/₃ ， 7 インチ]

OG	A	00	
----	---	----	--

B.1.5 用紙のミシン仕様

縦ミシン(耳ミシンを含む)、横ミシン(折りたたみミシン、帳票ミシン、内部水平ミシン)の定義は、図 B-2 による。ミシン目カット部及びタイ部の定義は、図 B-3 を参照して下さい。ミシン目のアンカット部は、図 B-2 を参照して下さい。

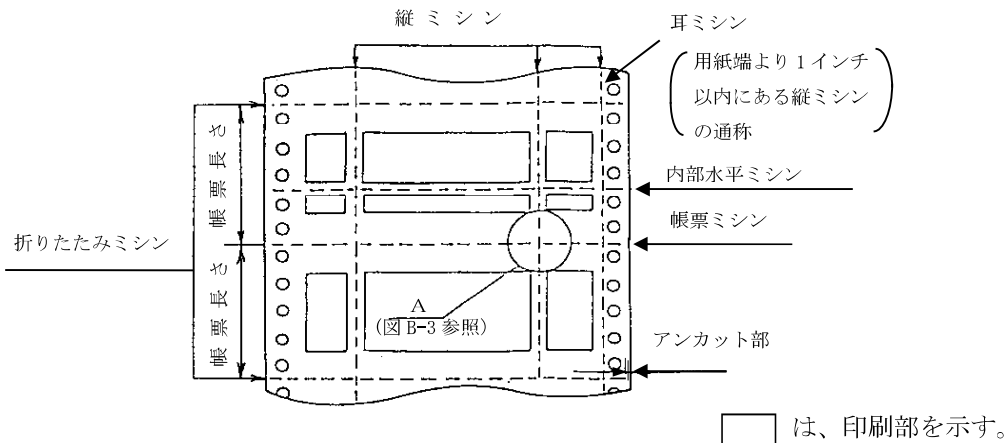


図 B-2 ミシンの定義

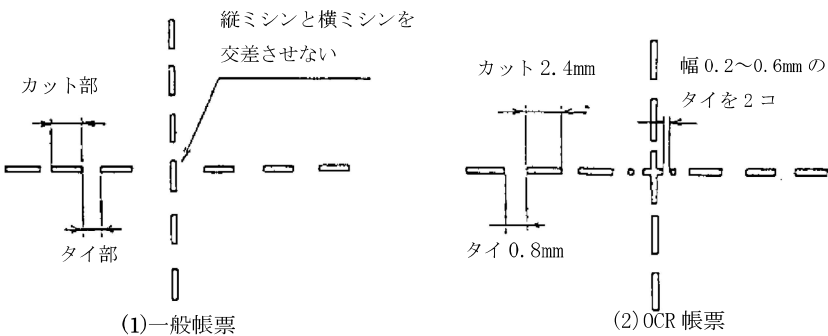


図 B-3 縦横ミシン目の交差部(図 B-2・A 部参照)

(1) 用紙連量とミシン本数の関係

表 B-2 用紙連量とミシン本数の制限

用紙連量 \ ミシン	帳票ミシン目 内部水平ミシン	を合わせて 縦ミシン (耳ミシンを含む)
55~70Kg	1 本のみ	最高 3 本まで
71~110Kg 未満	最高 2 本まで	最高 3 本まで
110~135Kg	最高 2 本まで	最高 4 本まで

注 2) 表 B-2 を超えてミシン本数を設けると、折りたたみ不良が発生し易くなります。

OG	A	00	
----	---	----	--

- (2) ミシン目のカット部及びタイ部の寸法
- (a) ミシンのカット部寸法は、3mm 以下とする。
 - (b) ミシンのタイ部の寸法は、0.8mm 以上とする。
 - (c) ミシンのカット部とタイ部の比は、1 以上かつ 3 以下とする。

(3) ミシンの強度

各種ミシンは、表 B-3 の標準寸法を基本として下さい。

表 B-3 各種ミシンと標準寸法

ミシンの種類 寸法	折りたたみミシン	縦ミシン、帳票ミシン 及び内部水平ミシン
標準寸法	タイ部；カット部 (1) 1 mm； 2.5mm	タイ部；カット部 1 mm； 1.5mm
	(2) 1 mm； 3.0mm	1 mm； 2.0mm
	(3) 0.8mm； 2.0mm	0.8mm； 1.2mm
	(4) 0.8mm； 2.4mm	0.8mm； 1.6mm
OCR 帳票	タイ部 0.8mm, カット部 2.4mm	

(4) ミシンに関する留意事項

- (a) ミシンは一直線に加工されていること。
- (b) 内部水平ミシンは、折りたたみミシンより 50.8mm (2 インチ) 以上離すこと。
- (c) 帳票ミシンと内部水平ミシンは、両端に 3～5mm のアンカット部(図 B-2 参照)を残すこと。また折りぐせのないこと。
- (d) 折りたたみミシンの両端に 1～3mm のアンカット部(図 B-2 参照)を残すこと。
- (e) 折りたたみミシンと帳票ミシンが重なった場合は、折りたたみミシンを優先する。
- (f) 縦ミシンは、用紙両端より 25.4mm (1 インチ) 以上離すことが望ましい。
(55kg～110kg 未満)
(薄手用紙に耳ミシンを設けると用紙ジャムが発生し易くなります。)
- (g) 110kg～135kg 用紙は、用紙両端より 12.7～25.4mm の範囲に
縦ミシン(耳ミシン)を設けること。

OG	A	00	
----	---	----	--

B.1.6 送り穴

用紙の送り穴の位置と寸法は次の通りとする。(JIS X 6195 による)

ここでいうセンターラインとは送り方向に 25.4mm 離れた任意の送り穴の中心を結ぶ線分をいう。

(1) 送り穴の位置

送り穴は用紙の左右両端の余白にあける。送り穴のセンターラインと対応する端辺との距離 A は次の通りである。

$$A=6\pm0.7\text{mm}$$

(2) 送り穴の直径

送り穴の直径 D は次のとおりである。

$$D=4.0\pm0.1\text{mm}$$

但し、穴の縁が歯状になっている送り穴は最小直径が上記の D と同じとし、最大直径が 4.5mm を越えてはならない。

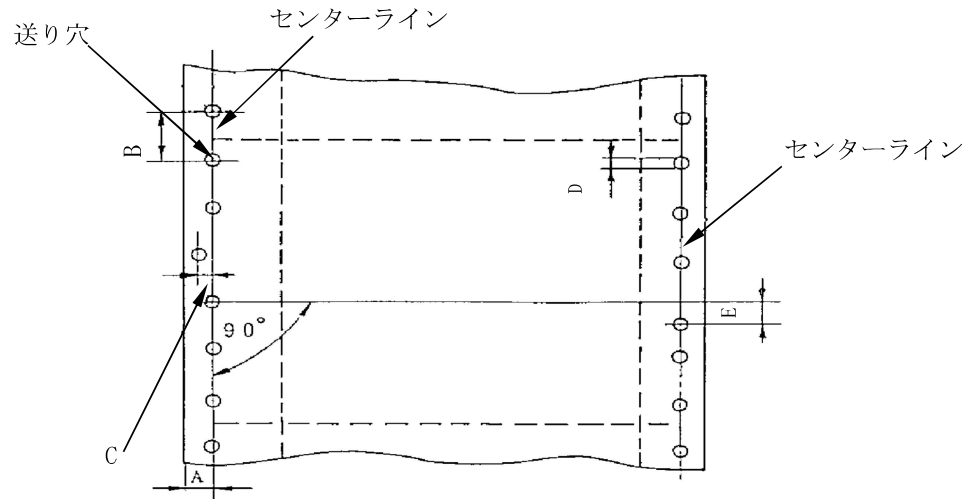


図 B-4 送り穴

(3) 送り穴の中心距離

隣接する二つの送り穴の中心間の距離 B は次のとおりとする。

$$B=12.70\pm0.05\text{mm}$$

(4) 送り穴の中心距離の累積誤差

送り穴の中心間距離の累積誤差は送り穴中心距離 254mm を越えない任意の二つの送り穴の間で $\pm 0.3\text{mm}$ を超えないこと。

(5) 送り穴の中心のずれ

送り穴の中心のセンターラインに対する左右のずれの最大許容量値 C は 0.1mm とする。

(6) 左右の対応する送り穴の中心のずれ

左側の任意の送り穴の中心をとおりセンターラインに垂直な直線とそれに対応する右側の送り穴の中心のずれの最大許容値 E は 0.15mm とする。

(7) 左右のセンターラインの傾き

左右のセンターラインを平行に移動して一方の端点と重ねたとき、他方の端点間の距離は 0.15mm 以内 とする。

OG	A	01	
----	---	----	--

B.1.7 送り穴以外の穴

コーナカット、バンダー穴を設けることは、穴近傍での定着不良や転写機構部での印刷汚れによる印刷品質の低下につながるので、極力使用しないのが望ましい。

コーナカット、バンダー穴を設ける場合は、下記の制限事項を守って事前に印刷品質の確認を行なってから御使用下さい。

- (1) コーナカット、バンダー穴について
コーナカットは、 $5\text{mm} \times 5\text{mm} \times 45^\circ$ 以下とする。
バンダー穴は、 $\phi 5\text{mm}$ または、 $\square 5\text{mm}$ 以下とする。

コーナカットのピッチ及び、コーナカットと横ミシンの関係は、図 B-5 による。

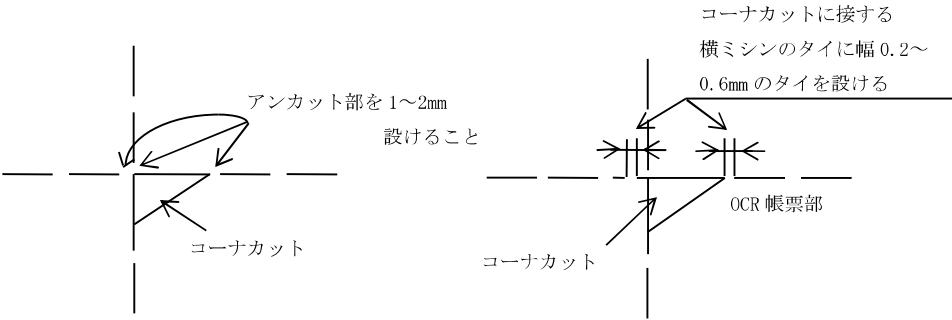


図 B-5 コーナカットと横ミシンの関係

OG	A	00	
----	---	----	--

(2) 穴あけ禁止領域

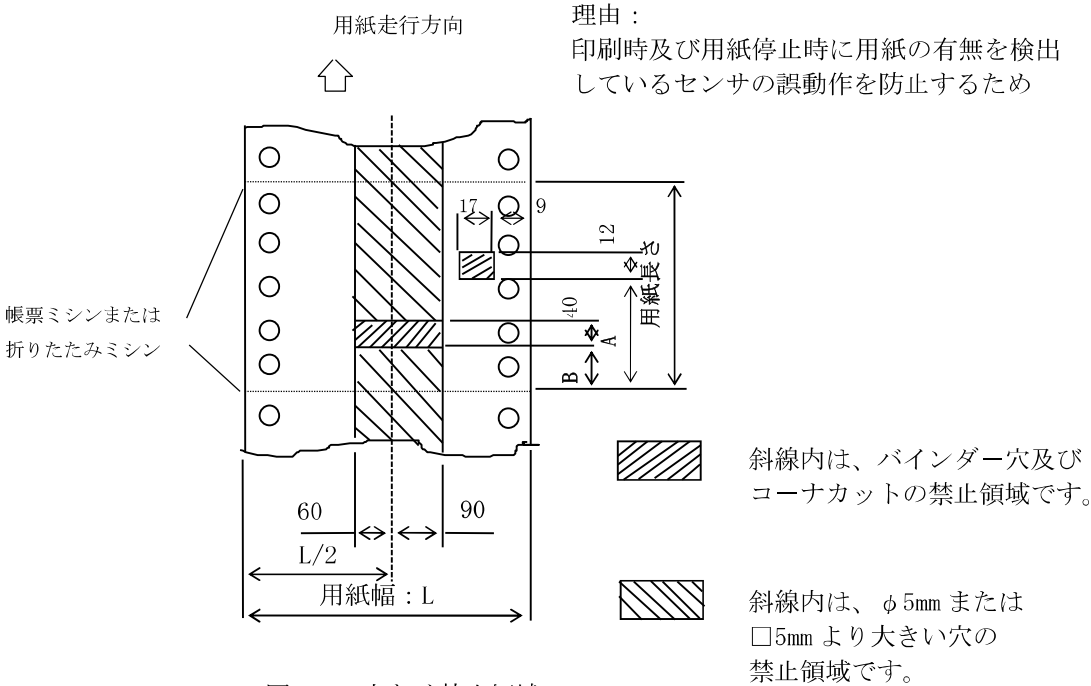


図 B-6 穴あけ禁止領域

A 寸法；帳票長さ 177.8mm(7 インチ)以下の場合				181mm-帳票長さ			
帳票長さ 186.3mm(7 ¹ / ₃ インチ)以上の場合				181mm			
B 寸法； mm(インチ)	用紙長さ	B 寸法	用紙長さ	B 寸法	用紙長さ	B 寸法	用紙長さ
	152.4(6)	84	160.9(6 ¹ / ₃)	58	165.1(6 ¹ / ₂)	46	169.3(6 ² / ₃)
	177.8(7)	8	186.3(7 ¹ / ₃)	168	190.5(7 ¹ / ₂)	160	194.7(7 ² / ₃)
	203.2(8)	135	211.7(8 ¹ / ₃)	118	215.9(8 ¹ / ₂)	109	220.1(8 ² / ₃)
	228.6(9)	84	237.1(9 ¹ / ₃)	67	241.3(9 ¹ / ₂)	58	245.5(9 ² / ₃)
	254.0(10)	33	262.5(10 ¹ / ₃)	16	266.7(10 ¹ / ₂)	8	270.9(10 ² / ₃)
	279.4(11)	262	287.9(11 ¹ / ₃)	253	292.1(11 ¹ / ₂)	249	296.3(11 ² / ₃)
	304.8(12)	236	313.3(12 ¹ / ₃)	228	317.5(12 ¹ / ₂)	223	321.7(12 ² / ₃)
	330.2(13)	211	338.7(13 ¹ / ₃)	202	342.9(13 ¹ / ₂)	198	347.1(13 ² / ₃)
	355.6(14)	185					

OG	A	01	
----	---	----	--

B.1.8 用紙の色

白色が望ましい。

色付の用紙を用いる場合は、明るい色(黄色、黄緑色、空色、ピンク色等)で色濃度をできる限り薄くして御使用下さい。

注) 色付の用紙は、用紙からの反射光量を検知している用紙ジャムセンサの動作マージンを損なうため、用紙に光を当てたときの反射率が75%以上確保できる範囲内で御使用下さい。

色付用紙を大量に注文するときは、使用しても問題がないか先に試験を試みることをお勧めします。

B.1.9 印刷の色

黒色。

本プリンタは黒色トナー専用です。指定されたトナーを使用してください。

(1) トナーおよび現像剤について

トナーおよび現像剤は必ずラベルの表示を確認してから使用してください。

もし誤って他のものを使用した場合には印刷品質が著しく低下したり、プリンタの障害の原因となります。

尚、トナー及び現像剤は長時間保存すると印刷品質の低下等を招く可能性があるため、先に購入したものから使用してください。

長時間保存する場合には、なるべく低い温度(推奨 30℃以下)で保存し、保存期間は、1年以内を目安としてください。

OG	A	01	
----	---	----	--

B.1.10 印刷可能範囲

- (1) 最大印刷幅は、
431.8 mm (17 インチ)
- (2) 最大印刷長は、〔帳票長さ－印刷禁止長さ×2〕です。
・印刷禁止長さ A : 8.5mm (1/3 インチ)
・最大印刷長 B : $L - 16.9\text{mm}$ (2/3 インチ)
- (3) 印刷可能範囲は図 B-7 の斜線部です。

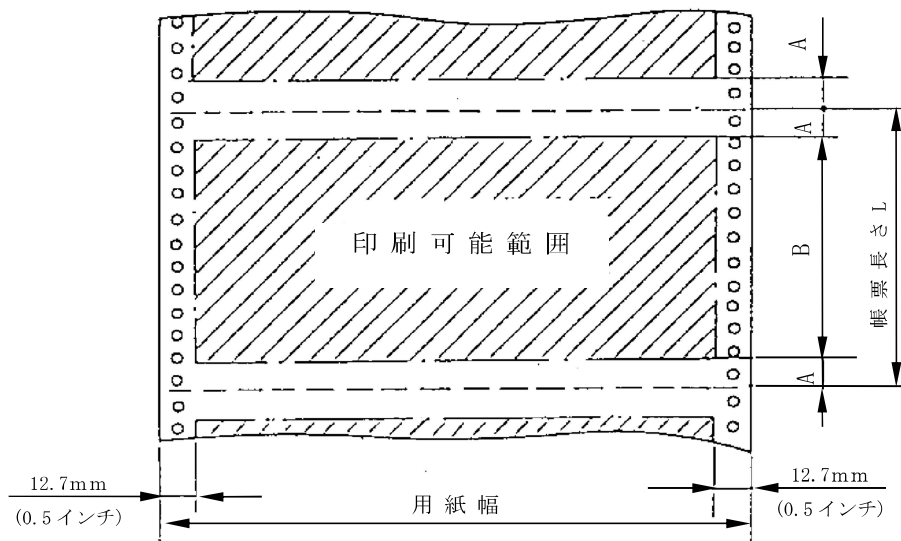


図 B-7 印刷可能範囲

OG	A	00	
----	---	----	--

B. 1.11 印刷禁止領域

図 B-8 の斜線部以外の部分が印刷禁止領域です。

- ・ 折りたたみミシン、帳票ミシンから 8.5mm (1/3 インチ) の領域。
- ・ 用紙の左右両端から、12.7mm (0.5 インチ) の領域。
- ・ 内部水平ミシンから 2.5mm (0.1 インチ)
- ・ 縦ミシンから 2.5mm (0.1 インチ)
- ・ バインダー穴の周囲 2.5mm (0.1 インチ)

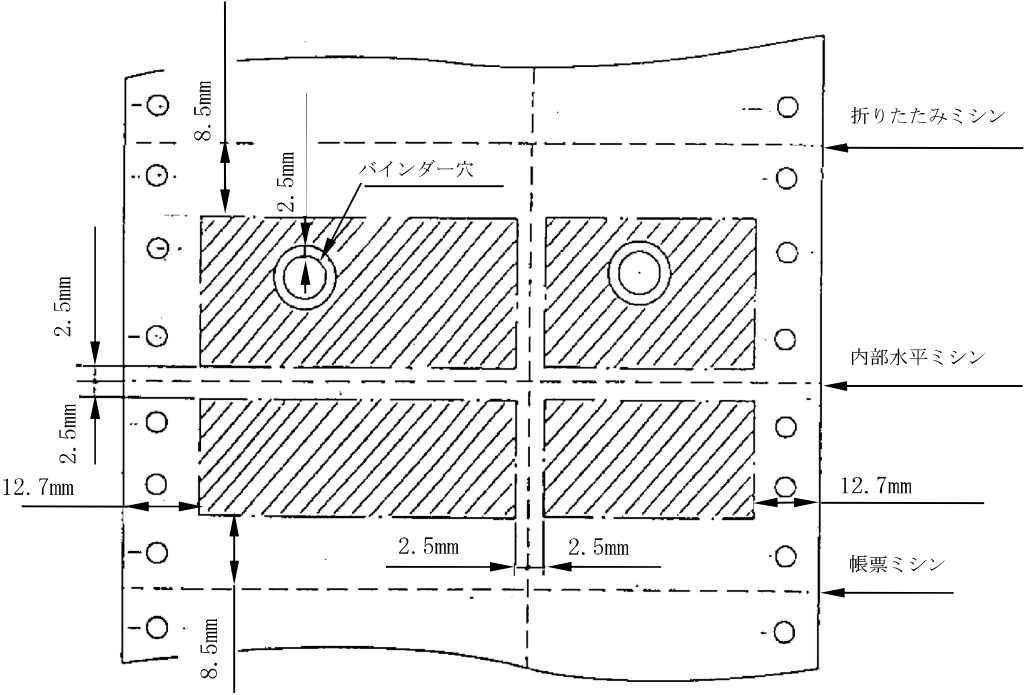


図 B-8 印刷禁止領域

OG	A	00	
----	---	----	--

B.1.12 プレプリント紙

(1) インク

- (a) 事前印刷に使用するインクは非揮発油性であり 200℃で 340kPa の圧力が数秒加えられても転写が起きないことが必要です。
帳票の裏面に事前印刷する場合にも、事前印刷に適したインクを使用してください。
- (b) 印刷はオフセット印刷で行ない、インクは出来るだけ薄くしてください。
- (c) 事前印刷に適したインクを以下に示す。
- ・酸化重合乾燥形インク
 - ・熱硬化形インク(ブリキインク)
 - ・紫外線硬化形インク
- (d) 事前印刷に不適当なインクを以下に示す。
- ・クイックセットインク
 - ・蒸発乾燥形インク
 - ・コールドセットインク
 - ・沈澱乾燥形または折 出乾燥形インク
 - ・しみこみ乾燥形インク
- (e) 事前印刷した帳票は、ポリエチレンシートで包装する前にインクが完全に乾燥していることが必要です。
インクの種類・乾燥条件により乾燥期間が異なるので、事前に用紙メーカーと打ち合わせて決定してください。
紫外線硬化形インクで完全にキュアーしたインクは、乾燥条件が整えば 1 日の放置で使用できます。酸化重合乾燥形インクは、乾燥に約 7 日の放置が必要です。
- 注) インクが乾燥していることを簡単にチェックする方法として、事前印刷の部分をティッシュペーパーで強くこすったとき、ティッシュペーパーに色が着かないことで見分ける方法があります。
- (f) 事前印刷時の雰囲気湿度は 45～60%RH とさせてください。
- (g) 事前印刷後、用紙が伸び縮みする乾燥方法はさけるように御要求ください。

OG	A	01	
----	---	----	--

(2) 事前印刷禁止領域

プリンタは、図 B-9 の用紙蛇行検出ゾーンで用紙の送行安定度を検出しています。
誤検出を防ぐためにこの部分には事前印刷をしないで下さい。
用紙製造のための色合わせ等のマーク(トンボ)も印刷しないよう用紙製造メーカーに御注意下さい。

但し、淡い黄色、淡い緑、淡い青、淡い灰色、淡いピンク色で罫線を印刷すること
可能ですが、必ず事前にテストして装置が誤動作しないことを確認して下さい。

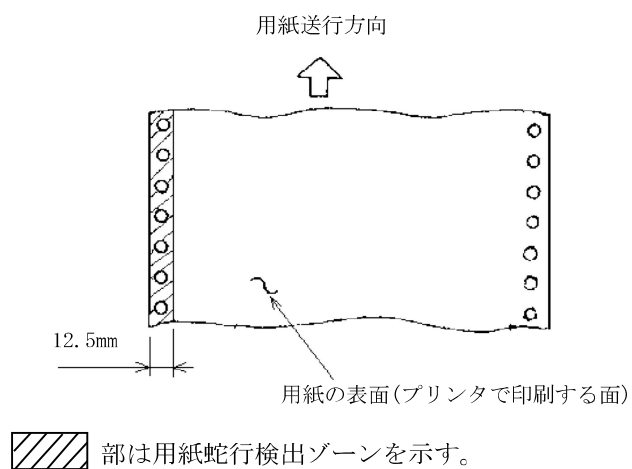


図 B-9 用紙蛇行検出ゾーン

OG	A	00	
----	---	----	--

B.1.13 帳票

印字データ文字を事前印刷にあまり接近して配列すると、帳票の湿度変化、事前印刷の精度等により、事前印刷の上にデータ文字が印刷され、帳票の美観を損なうことがあります。

事前印刷時の湿度雰囲気とプリンタで印刷中の湿度雰囲気の差による用紙の伸縮、(相対湿度 10%の変化で約 0.2%の伸び)、事前印刷の精度(±0.2mm)、用紙送りの精度誤差等によりデータ文字が事前印刷の所定の位置に正しく配置されないことがあるためです。

(1) 帳票設計上の留意事項

- (a) 特に幅広い用紙で、左から右まで 1 行を一杯の長さで御使用になる場合は、データ文字を事前印刷の縦罫線より 1mm 以上離して配置する。

注) すでに設計している帳票において、事前印刷の縦罫線 2 本の間に印刷すべきデータ文字が多く、縦罫線より 1mm 以上離せない場合は、縮小文字を用い縦罫線との間に余裕をとるようにして下さい。

- (b) 事前印刷による横罫線間に印字データ文字を印刷する場合は、データ文字を横罫線より 1mm 以上離して配置する。

注) 書式オーバーレイを用いて帳票を印刷する場合は、事前印刷の精度の影響がないので、罫線とデータ文字の関係は、0.4mm 以上でよい。

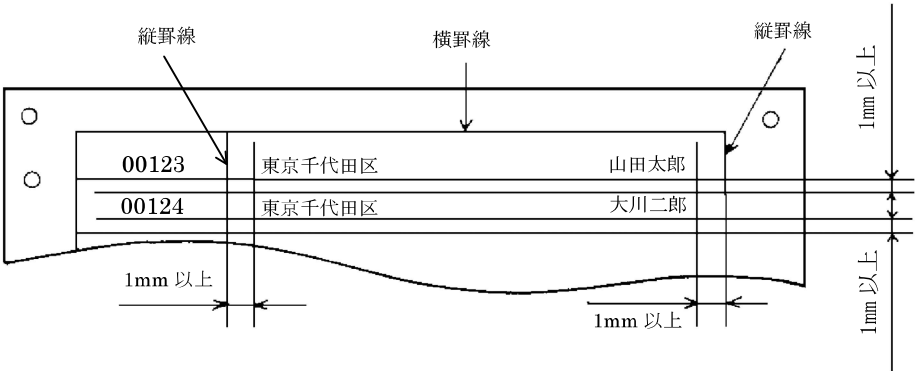


図 B-10 事前印刷における罫線と印字データ文字との間隔の関係

OG	A	01	
----	---	----	--

B.1.14 保管条件

温度 10～30℃ (JIS X 6195 に準拠する。)

湿度 30～70%RH

但し、ポリエチレンシートで印刷用紙自体を梱包した場合は、下記とする。

温度 4～43℃

湿度 8～90%RH

保管場所と使用場所との間に環境条件の差がある場合は、使用する 2～3 日前に使用場所に移動して同一環境になじませる。湿度の高い場所に印刷用紙を保管してすぐに計算機室内で使用する場合には、用紙に急激な湿度変化が加わり用紙ジャムの原因となり、又、折りたたみミシン目の近傍で転写不良の原因となります。

帳票設計上可能な場合は、折りたたみミシン目からの領域を広くしておくことにより、上記リスクが軽減されます。

B.1.15 梱包

一箱当りの折りたたみ枚数は、用紙を積み重ねたときの高さが 290mm を越えないこと。

外箱形状はフタ付とし、下箱の高さは 300mm 以下とする。また、下箱の縦寸法(用紙長さ方向)は 390mm 以下、横寸法(用紙幅方向)は 470mm 以下とする。下箱の内部には用紙が印刷装置内にフィードされるのを妨げる有害な突起物がないこと。

一箱中の用紙は用紙そのものが切れ目なくつながっていること、また、スタック容量は 55Kg 紙で最大 2000 シートです。一箱中のシート数はそれを考慮し決定してください。

B.1.16 用紙に関する留意事項

(1) 穴の抜きかす

送り穴、ファイル用バイнда穴、コーナーカット三角穴等は完全に抜かれていなければなりません。抜きかすが残っていてはならない。これらの抜きかすがプリンタの感光ドラムと用紙の間に落ちるとデータの脱落になる恐れがあります。また、感光ドラムを傷つける恐れがあります。

送り穴等を抜くためのパンチカス等の金属物が、絶対に混入したり付着していないことが必要です。

(2) 異物の付着がないこと。

糊のかたまり等の付着がないこと。

OG	A	01	
----	---	----	--

(3) しわ及び折れ目

用紙にしわや折りたたみ部以外の折れ目があると、その近辺の文字が用紙に転写されない場合がある。従って用紙にはしわや折れ目があってははいけません。

(4) 用紙の破れ

途中に用紙破れがあると用紙ジャムが発生し、用紙装填のやりなおしを必要とします。またデータの脱落・脱字を起す原因となる。更に最終頁に用紙の破れがあると用紙切れ(EOF)のチェックが不完全となり、印刷不良となります。従って用紙の破れがあってははいけません。

(5) 用紙の反り

用紙に反りがあると、折りたたみ不良や用紙ジャムが発生することがあります。また、印刷後、バースタ等を使用する場合用紙ジャムを起こすことがあります。従って、用紙に著しい反りがないことが必要です。

(6) カーボン入用紙や感圧紙（ノーカーボン用紙等）等の複写紙は使用できません。

(7) 電子写真方式を用いたプリンタで印刷した用紙は、表面及び裏面も使用することはできません。本プリンタで印刷した用紙も他の電子写真方式を用いたプリンタで印刷することはできません。（参考：電子写真方式を用いたプリンタで印刷した用紙は、インパクトプリンタでも使用できません。もし使用すると、インパクトプリンタの機構部を損傷する恐れがあります。）

(8) インパクトプリンタで印刷した用紙の表面および裏面は使用することができません。

(9) 湿式および液乾式電子写真プリンタ用の用紙は使用できません。

（湿式または液乾式の用紙であることの簡単なチェック方法として、硬貨で強くこすったときその部分の用紙の色が変わることで見分ける方法がある。）

(10) 用紙の含水率

用紙の含水率が高いと用紙ジャム、しわ、印刷品質低下の原因となります。一方低いと静電気が高くなる傾向があるので、転写部の障害、用紙ジャムの原因となります。含水率は5～6%としてください。用紙の保管条件を守ってください。

OG	A	01	
----	---	----	--

(11) 用紙の透気度

用紙透気度が高いと走行障害、印刷品質低下の原因となります。

用紙透気度は、100 秒以下を推奨します。

＊透気度：一定の条件下で一定量の空気が用紙を通過するのに要する時間。

単位は秒で表す。（測定方法は JIS P8117 による。）

(12) 用紙をスプライスして使用することはできません。

(13) 用紙の成分

100%化学木材パルプの紙を使用してください。碎木パルプや綿を含有する紙は、 CaCO_3 (炭酸カルシウム) 等の自然不純物を含んでおり、感光ドラムや HR ユニットの寿命を短縮します。 CaCO_3 (炭酸カルシウム) の含有率は 5 % 以下とするようにしてしてください。

また、高い温度を加えた時に、溶解したり、蒸発したり、裏移りしたり、脱色したり、有害物質を発生させるような材料を含むコート紙を使用しないでください。

(14) 用紙の表面抵抗値、体積抵抗値

用紙の表面抵抗値や体積抵抗値が高い場合は、印刷品質を低下や走行障害の原因となる恐れがありますので、以下の範囲として下さい。

（測定方法は、JIS K6911 による。）

・ 表面抵抗値： $1 \times 10^9 \sim 1 \times 10^{13} \Omega$
（推奨値： $1 \times 10^9 \sim 1 \times 10^{12}$ ）

・ 体積抵抗値は $1 \times 10^9 \sim 1 \times 10^{13} \Omega \cdot \text{cm}$
（推奨値： $1 \times 10^9 \sim 1 \times 10^{12}$ ）

OG	A	01	
----	---	----	--

事後処理機 機器仕様一覧

本仕様一覧は、メーカーより発行されている機器パンフレットや取扱説明書を一部引用して作成しております。ご一読ください。

A ディタッチャー

A-1 機種名：トッパンフォームズ Potencia125

【処理フォームサイズ】

幅 101.6～457.2mm (4.0～18.0 インチ)

天地 63.5～355.6mm (2.5～14.0 インチ)

※用紙幅の仕上がりサイズは最大 431.8mm (17.0 インチ)

【マージナルスリット幅】

0～32.0mm (0～1.26 インチ)

【その他】

- ・ホチキス等の金属部分のあるフォーム（用紙）は絶対に処理しないでください。

A-2 機種名：トッパンフォームズ Corazon160

【処理フォームサイズ】

幅 101.6～457.2mm (4.0～18.0 インチ)

天地 63.5～355.6mm (2.5～14.0 インチ)

※用紙幅の仕上がりサイズは最大 431.8mm (17.0 インチ)

【マージナルスリット幅】

0～30.48mm (0～1.2 インチ)

【その他】

- ・ホチキス等の金属部分のあるフォーム（用紙）は絶対に処理しないでください。

B ドライシーラ

B-1 機種名：トッパンフォームズ PRESSLE SOLID 6844ST

【用紙仕様】 三つ折りタイプ

用紙幅（ウイズ） 330.2～457.2mm (13～18 インチ)

天地（デプス） 101.6～228.6mm (4～9 インチ)

用紙仕上がり幅 101.6～144.8mm (4～5.7 インチ)

※用紙幅、用紙仕上がり幅は左右 0.5 インチ (12.7mm) スリット時

【紙質】

ドライシーリング用紙：上質 70～130kg

POSTEX 用紙：77W、80W、110W、130S 相当の用紙に限ります。

【マージナルスリット幅】

左右共 0～25.4mm (0～1 インチ)

【その他】

- ・仕様外の厚い用紙（フォーム）を処理しないでください。
- ・ホチキス等の金属部分のあるフォーム（用紙）は絶対に処理しないでください。

B-2 機種名：トッパンフォームズ PRESSLE DUO II 6855ST

【用紙仕様】 三つ折りタイプ

用紙幅（ウイズ） 330.2～457.2mm（13～18 インチ）
天地（デプス） 101.6～304.8mm（4～12 インチ）
用紙仕上がり幅 101.6～144.8mm（4～5.7 インチ）

【紙質】

シーリング用紙：上質 70～90kg
POSTEX 用紙：77～110kg 相当

【マージナルスリット幅】

左右共 0～30.4mm（0～1.2 インチ）

【その他】

- ・仕様外の厚い用紙（フォーム）を処理しないでください。
- ・ホチキス等の金属部分のあるフォーム（用紙）は絶対に処理しないでください。

C ブックレットマシン+封入封緘機

ブックレットマシン 機種名：トッパンフォームズ Confia 7613ST

【処理用紙サイズ】

幅：ワンワイド処理 203.2mm～254.0mm（8～10 インチ）
ツーワイド処理 381.0mm～457.2mm（15～18 インチ）
天地：88.9mm（3.5 インチ）、101.6（4 インチ）、114.3（4.5 インチ）

【製本仕上がりサイズ】

幅：177.8mm～228.6mm（7～9 インチ）
天地：88.9mm（3.5 インチ）、101.6（4 インチ）、114.3（4.5 インチ）

【紙質】

上質紙または OCR 用紙 55kg～90kg

【綴じ枚数】

ワンワイド処理 1～50 枚、ツーワイド処理 2～50 枚（偶数枚綴じ）

封入封緘機 機種名：インセルコ インセルコインサーター 11006

【封入点数】 6 点

【封入物サイズ】

最小：縦 76mm×横 139mm 最大：縦 135mm×横 222mm
厚み：最大 5mm（無加圧）

【封筒サイズ】

最小：縦 90mm×横 155mm 最大：縦 140mm×横 235mm
フラップ幅：25mm～45mm

D OCR 読取機器

機種名：東芝 S3500EH

● 用紙仕様（取扱説明書 P73 一部引用）

【帳票サイズ（縦×横）】※1

70×52mm～458×305mm（縦横比 $0.5 \leq \text{縦}/\text{横} \leq 2.0$ ）

【厚さ】

40.7～209.4g/m²（35～180kg 連量）

【使える紙質】

OCR 用紙、上質紙（銘柄指定※2）、普通紙（要評価※3）、再生紙（要評価※3）、ノンカーボン紙 A 紙/C 紙（指定銘柄※2）、ノンカーボン紙 B 紙（要評価※3）、微塗工紙（マット加工）、一般的なビジネスフォーム紙、シーリングはがき（要評価※3）、キャリアシート

【使えない紙質】

特殊な表面処理がしてある紙質全般、裏カーボン紙、塗工紙、ビニールコート紙、その他※4

- ※1 縦/横は、搬送方向に対する方向です。サイズ、縦横比、紙厚は、紙質や機能などにより制限される場合があります。
- ※2 指定銘柄については、直接メーカーにお問い合わせください。
- ※3 事前に適正な紙質であるか評価する必要があります。直接メーカーにお問い合わせください。
- ※4 使える紙質であっても、断裁制度のよくない用紙、ミシン目がある用紙、折れている用紙、のりづけ用紙などは搬送できないことがあります。

● 故障の原因となる用紙（取扱説明書 P26、27 一部引用）

- ・ 消しゴムのかす、クリップ、ホチキス、輪ゴム等が混入した用紙
- ・ ぬれたり湿っている用紙
- ・ インクが乾ききっていない用紙
- ・ 薬品などでコーティング処理されている用紙

E 単票プリンタ

機種名：FUJI XEROX DocuColor7171P

【帳票サイズ】※1

定型サイズ 最大：A3 ～ 最小：A5

非定型サイズ（縦×横） 140×182mm ～ 330×488mm

【用紙質量】

64 ～ 220g/m²

【使える紙質】

非コート紙、コート紙（要評価※2）、再生紙（要評価※2）

【使えない紙質】(DocuColor7171P ユーザーズガイド P125 一部引用)

ホチキス・クリップ・リボン・テープなどが付いた用紙、厚すぎる用紙、薄すぎる用紙、表面に特殊コーティングされた用紙、ざら紙や繊維質の用紙など表面が滑らかでない用紙、その他※3

【印字可能領域】

画像掛け幅：先端 4 m²、後端 4 m²、手前側 3.5 m²、奥側 3.5 m²

- ※1 非定型サイズについては搬送方向に対する方向です。サイズ、縦横比、紙厚は、紙質や機能などにより制限される場合があります。
- ※2 事前に適正な紙質であるか評価する必要があります。直接メーカーにお問い合わせください。
- ※3 DocuColor ユーザーズガイド 7171P の 125 ページ「使用できない用紙」を参照下さい。

F 紙折機

機種名：UCHIDA EZF-600

【用紙寸法】

最大：A3 ～ 最小：B7 (※B7 は2つ折りのみ可)

【用紙質量】

46.5 ～ 127 g/m²

【使える紙質】※1

上質紙、中質紙、更紙、アート／コート再生紙

【折形】※2

2つ折り・4つ折り・片袖折り・内3つ折り・観音折り・2回通しによるクロス折り

- ※1 記載されている紙質であっても、一度折った紙や印刷機、コピー機、プリンタ等による熱によってカールしている状態・波を打っている状態などの紙では、うまく折れない場合があります。
- ※2 封入封緘で使用する同封物については「内3つ折り」のみとなります。